

第 25 回

岡山歯学会総会

日時：平成 17 年 2 月 27 日（日曜日）

午前 9 時 30 分

場所：岡山大学創立五十周年記念館

研究発表：ポスター形式

1. ポスター発表は 2 階大会議室にて行います。
2. ポスターは 8:45～9:30 の間に掲示してください
3. ポスターパネルは、縦 213cm x 横 90cm の大きさです。上部の演題・発表者氏名・所属領域を縦 20cm x 横 90cm に設定し、発表領域は縦 140cm x 横 90cm ぐらいを目安にして下さい。演題番号は当方にて用意し、ポスターパネルの左上端の位置に掲示しておきます。ポスターは演題番号の下から掲示して下さい。
4. 掲示に使用するピンなどは演者でご用意ください。掲示終了後に、発表者はポスター会場受付にてリボンを受け取り、胸にお付けください。
5. 一般講演ポスターは座長がいませんので、討論時間になったら自由に討論を始めて下さい。発表者は、討論時間中リボンを付けてポスターの前に待機してください。
6. ポスターの撤去は閉会の後すみやかに（16:10～16:30）をお願いします。

岡山大学歯学部創設 25 周年記念式典 第 25 回岡山歯学会総会ならびに学術集会

日 時 : 平成 17 年 2 月 27 日 (日) AM 9:30 ~ PM 4:00

場 所 : 岡山大学五十周年記念館 (岡山市津島中 1-1-1)

AM 8:30 ~ 9:00 岡山歯学会理事・評議員会

AM 8:45 ~ 9:30 受付開始
ポスター受付および展示開始

<午前の部> 岡山大学歯学部創設 25 周年記念式典

AM 9:30 ~ 9:35 記念式典および岡山歯学会開始
開会の挨拶

AM 9:35 ~ 9:55 岡山大学歯学部の歴史

AM 9:55 ~ 10:30 記念祝辞

AM 10:30 ~ 10:35 祝電紹介

AM 10:35 ~ 11:00 岡山大学歯学部の歴史
卒後進路, 教員の業績等の紹介

AM 11:00 ~ 11:10 歯学部元教授への感謝状贈呈

AM 11:10 ~ 12:10 記念講演

AM 12:10 ~ 12:30 記念式典終了, 昼食・懇親会場への移動

AM 12:30 ~ 昼食・懇親会 (ピーチユニオン)
開会の挨拶
乾杯
岡山歯学会各賞表彰

<午後の部> 第 25 回岡山歯学会総会ならびに学術集会

PM 2:00 ~ 3:00 特別講演

PM 3:00 ~ 3:30 岡山歯学会総会

PM 3:30 ~ 4:00 一般発表 (ポスター発表: 自由討論)

PM 4:05 ~ 4:10 閉会の挨拶

PM 4:10 ~ 4:30 ポスター撤収

平成 17 年 2 月 27 日

歯学部創設 25 周年記念によせて

岡山大学歯学部長
渡 邊 達 夫

岡山大学歯学部が創設されてから、4分の1世紀が過ぎた。1979年に生まれた子供が歯学部を卒業する時期である。卒業生は1,200名に達する。第一期の卒業生が出てから、岡大の卒業生の腕は立つ、という評判をもらった。卒前臨床実習には、教授自らが一診に出て学生実習に当たったものだった。近頃は、「岡大の卒業生は優秀ですね。どんな教育をしているのですか」と聞かれる。そんな時、「教員の背中を見て学んでいるのでしょうか」と答える。このような評判を耳にすることは、卒業生の資質によるものであるが、岡山大学歯学部に籍を置く者として望外の幸せである。

教育においては、カリキュラムの改変に努力し、早期見学実習やチュートリアルなどを取り入れ、問題発見・問題解決能力の涵養に力を注いでいる。国際交流では従来の学部間交流の拡大に加えて、学部学生の交換交流を進めるODAPUSを取り入れている。入学試験制度も、推薦入試、前期・後期試験、学士入学、私費外国人特別選抜などを実施し、それぞれの試験内容を変え、受験者全員に面接をし、学生の多様化を図って来ている。

研究の成果は、岡山大学歯学部が創設以来一貫して自慢できることである。現在も科学研究費の獲得件数、獲得額とも医学部に匹敵する位であり、特に若手教員の活躍ぶりには目を見張るものがある。

2001年4月から、教員組織は大学院医歯学総合研究科に移行した。2004年4月からは、国立大学法人岡山大学となり、大学院教授会歯学系会議、歯学部教授会と大学院運営会議、歯学部運営会議などによって歯学部は運営されている。教授会は教学に関することに限定され、組織の運営や改変は全て歯学部運営会議で決定される。運営会議の構成員は歯学部長、副学部長(総務担当と教学担当)、副研究科長、副病院長、入試委員長、学生生活委員長と学部長が認める教員及び事務部長である。

2003年10月には、医学部・歯学部附属病院が発足した。病院長は医師であり、五人の副病院長を置くことになっている。歯科系からは、二人の副病院長を出すこと

になった。総務担当と教育担当である。医学部・歯学部附属病院の運営は病院運営会議で全て決定される。従前の病院運営会議は診療科長等会議となり、ほとんどが報告事項である。

独立行政法人化は予算面にも大きく影響してきている。文部科学省が今まで交付してきた金額をそのまま運営交付金として各大学に渡す。その範囲内で大学運営をしなさいと言う。この運営交付金は効率化と称して、毎年1パーセント削減される。運営交付金と授業料、入学検定料、病院収入でもって、岡山大学を運営することになっているので、入学志願者が少なくなると大学予算が減少することになる。教員、事務員の人件費もこの中に含まれる。学長は1人1人の給料を減らさずに、人員を減らす方向で行きたいと考えている。これは教室運営にも反映されている。大学から給付される講座研究費は3分の2位に減額され、光熱水料と通信費で消えてしまう講座も出てくる。研究費は競争的原理の導入という名の下に、外部資金を獲得するように仕向けられてきた。科学研究費、受託研究、委任経理金などを獲得しなければ研究を継続することが難しい。幸いなことに岡山大学歯学部の科学研究費は従来から潤沢にあり、今のところ苦勞している講座はあまり無い。

大学院化、独立行政法人化と大きな変革があったが、学生に与える影響は少なく、教員も上手に身を処している。これらの変革は実力のあるものが勝ち残れるシステムで、岡山大学歯学部は過去の実績もあり、十分に戦える実力を持ち合わせている。また、若手教員への移行も極めてスムーズに行うことが出来、あまり心配することはなさそうである。

今後、歯学部という弱小学部が生き残って行くには、お互いの信頼と友情の下、良く意見を戦わし、経済的基盤を固め、次の世代にリレーする心構えを培っていかなければならない。今ここに、岡山大学歯学部創設25周年記念事業を実施した意味は、新たな決意をする契機を作ることにある。また、同窓会の皆さんのご協力にも感謝する。自慢して頂ける母校にすべく、大学教員として努力する。真に、国民の健康な生活を確保する歯科医師を世間に送り出すことが岡山大学歯学部の使命であり、この目標に近づけることが、自慢できる母校を作り上げるものであると確信している。

岡山大学歯学部創設 25 周年記念講演

座長 渡邊 達夫 教授

PM 11 : 10 ~ PM 12 : 10

「高齢社会における医療福祉の課題」

江草 安彦 先生 社会福祉法人 旭川荘理事長, 川崎医療福祉大学名誉学長

特別講演

座長 嶋田 昌彦 教授

PM 2 : 00 ~ PM 3 : 00

「破骨細胞性骨吸収を標的とした癌の骨浸潤・骨破壊の制御」

岡山大学教授 佐々木 朗 先生 大学院医歯学総合研究科歯顎口腔病態外科学分野

総会

PM 3 : 00 ~ PM 3 : 30

一般発表

PM 3 : 30 ~ PM 4 : 00

1. 胎児発生に必須な遺伝子 *cyr61* に存在する発現調節機能の解析
○ 仲川 洋介 他 (岡大院医歯学 口腔生化・分子歯科学他)
2. リコンビナントヒト BMP-2 の濃度が若齢と高齢ラットの骨形成に及ぼす影響
○ 山路 公造 他 (岡大医・歯病院 むし歯科他)
3. 岡山大学医学部・歯学部附属病院歯科時間外診療室を受診した患者の臨床統計的検討
○ 假谷 直之 他 (岡大院医歯学 行動小児歯科学)
4. MRI を用いた発音時舌形態の観察と発音補助床設計への応用
○ 洲脇 道弘 他 (岡大院医歯学 咬合・口腔機能再建学他)
5. 嚥下時の舌運動が咽頭内圧に及ぼす影響—舌圧・咽頭内圧同時測定システムの構築
○ 有岡 享子 他 (岡大医・歯病院 歯科放射線他)
6. 岡山大学病院における摂食・嚥下専門外来の役割について
○ 石田 瞭 他 (岡大医・歯病院 特殊歯科他)

7. 等温遺伝子増幅法 (LAMP 法) による歯周病細菌の検出
○ 宮川 淳子 他 (岡大院医歯学 歯周病態学他)
8. 高コレステロール食がラット付着上皮の根尖側移動に与える影響
○ 草野 弘揮 他 (岡大院医歯学 口腔保健学)
9. 当科における Class II および III 根分岐部病変に対する歯根切除療法の予後についての考察
○ 杉山 安平 他 (岡大医・歯病院 歯周科)
10. PCR-DGGE 法による口腔内バイオフィーム細菌叢の解析
○ 荅口 進 他 (岡大院医歯学 口腔微生物学他)
11. トータルエッチングシステムのステップ数と樹脂含浸層の違いが象牙質への接着耐久性に及ぼす影響
○ 吉田 靖弘 他 (岡大院医歯学 生体材料学)
12. IB4-sap によるラット脊髄後根神経節ニューロンの破壊
○ 福田 朋樹 他 (岡大院医歯学 顎口腔機能制御学他)
13. カプサイシン全身投与によるラット新生仔体性知覚 1 次ニューロンの細胞死と caspase-3 の発現
○ 金 海威 他 (岡大院医歯学 口腔機能解剖学他)
14. 骨芽細胞から骨細胞への最終分化に伴うアクチン結合蛋白の局在変化について
○ 上岡 寛 他 (岡大院医歯学 顎顔面口腔矯正学)
15. 口腔扁平上皮癌における癌抑制遺伝子候補としての Caspase-6 の検討
○ 神農 泰生 他 (岡大院医歯学 口腔病理病態学)
16. 前歯部開咬患者の咬合力と下顎頭運動
片山 朗 他 (岡大院医歯学 顎顔面口腔矯正学)
17. 「学生による授業評価」の検討 - 歯学部学生を対象とした調査-
○ 宮脇 卓也 他 (岡大医・歯病院 歯科麻酔)
18. 歯科医師卒後臨床研修必修化に向けて - 過去 2 年間における総合歯科での研修目標到達度と今後の展望 -
○ 鈴木 康司 他 (岡大医・歯病院 総合歯科)
19. 当院外来歯科患者の年代別欠損パターンに関する横断調査
○ 榊 由起子 他 (岡大院医歯学 顎口腔機能制御学)
20. ラット顎下腺に分布する感覚神経の入力経路に関する組織化学的研究
○ 小橋 美由紀 他 (岡大院医歯学 口腔生理学)
21. 口腔扁平上皮癌におけるシスプラチン (CDDP) 感受性とテロメラーゼ活性の検討
○ 目瀬 浩 他 (岡大院医歯学 歯顎口腔病態外科学他)

PM 4 : 05 閉会の挨拶